



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



迎春

白山「大倉尾根より北アルプスを望む」(写真提供：飛騨署 日置順昭)

主な項目	○ 鈴木局長年頭所感 P 2 ○ 各地からのたより P 3～5 ○ シリーズ「森林官からの便り」 P 5 ○ 2013年 主な出来事 P 6～8 ○ シリーズ「ご当地自慢」 P 9 ○ 平成26・27年度 国有林モニター募集 P 10
------	---



年頭所感

地域の森林・林業を

リードしていく存在に！

中部森林管理局長 鈴木 信哉

新年明けましておめでとうございます。

読者の皆様におかれましては、ご家族とともに、よき新春を健やかに迎えのことに心よりお慶び申し上げます。

また、当局の業務運営に当たり、それぞれの立場でご協力をいただいていることに對しても、厚く御礼を申し上げます。

昨年は四月一日に、昭和二十二年の林政統一以来、約六十五年間続いた特別会計に終止符を打ち、一般会計として新たなスタートを切りました。かつて国鉄や郵政とともに三公社五現業といわれていましたが、次々と民営化され、結果的に一般会計に移行したのは国有林だけとなり

ました。

これまで、分割民営化や一部独立法人化など様々な議論がなされてきましたが、最終的には、森林の持つ公益的機能の維持増進等の必要性から「国が直接管理することが望ましい。」と国民の皆様が判断された結果と考えています。

そのスタートの年の取組を振り返って見ますと、国有林は、一般会計として、公益重視の管理経営を一層推進しつつ、森林・林業の再生や地域振興といった政策実現のために取り組んでいます。

具体的には、木曽ヒノキをはじめとする「木曽谷の温帯性針葉樹林」を伝統建築物の維持・保存などと調整しつつ保全する取組、市町村森林整

備計画の策定を支援する地域森林総合監理士（通称「フォレストスター」）の育成、木材価格急変時の「国有林材の供給調整」の取組、「コンテナ苗」を活用した生産・造林一貫作業システムの普及、高齢級で良質な人工ヒノキのブランド化を目的とした「（高）国木曽ひのき」（読み方：マルコウマルコク キソヒノキ）の販売、「型枠合板の国産材化」の取組等を行っています。

また、当局では、過去の貴重な記録を未来に残すことも重要と考えています。その一環として、現在、森林鉄道の記録を集めており、書庫の中で埃をかぶっている資料をひもとくとともに、実際に森林鉄道に関わった皆様の貴重な体験談や写真を

提供していただき、後世に残したいと考えています。

今年是一般会計化二年目を迎え、より一層、他の行政機関等とも連携しつつ、地域の森林・林業をリードしていく存在となる必要があると考えています。そのためには、国有林が「今何をして、何をしようとしているのか」地域の皆様に理解していただく取組も重要と考えており、新聞、テレビ等への積極的なプレスを行っていくこととしています。

国有林の使命を達成するため、管内の地方公共団体、関連する業界とも連携しながら、公益重視の管理経営の一層の推進はもとより、我が国の森林・林業の再生や地域の活性化など、国有林野事業に求められる役割の発揮に精一杯努めていく考えですので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様方の今年一年間のご多幸とご健勝を祈念しまして、年頭のご挨拶といたします。

今年の干支は甲午



今年の干支は午年です。

十二支はさらに細かくいうと「甲午」で、「きのえうま・こうご」と読みます。

馬は、人間との意志の通う家畜として、昔から親しまれてきました。

こうした馬との密接な間柄を反映して、馬についてのことわざや漢字は豊富です。

「人に添うてみよ、馬には乗ってみよ」。人とは、付き合ってみなければ、その人のことはわからないもので、外見だけで、その人（馬）のことを判断してはいけないというたとえです。人とは生活を一緒にしたり、仕事をしたりして、はじめて、相手の性格や自分との相性などがわかり、また、馬には、乗ってみないと、その馬の癖や、乗り心地なども分からない。どんなことでも、経験してみないと本当のことは分からないので、とにかく、やってみる、という教えます。



木曾馬（長野県木曾町開田高原にて）

午年生まれの有名人をあげると一九四

二年・プロゴルファーの青木功、一九

五四年・俳優の石田純一、一九六六年・

俳優の江角マキコ、一九七八年・マラ

ソンの野口みずき、一九九〇年・フィ

ギュアスケートの浅田真央といった方々

がいます。

過去に起きた午年の出来事を紹介しま

すと、一五八二年・清洲会議、一九六

年・ビートルズ来日、一九七八年・成

田空港開港、一九九〇年・東西ドイツ統

一、二〇〇二年・冬季ソルトレイクシ

ティオリンピック・サッカーワールド

カップ日韓大会などがありました。



花が馬の顔に似ているので駒草

各地からのたより

国民の森林づくり推進功労者に

林野庁長官感謝状を贈呈

国有林において、国民参加による森林づくりや森林環境保護、国産材利用推進などの活動に取り組んでおられる個人や団体等に対して林野庁長官が感謝状を贈呈するもので、今年度は、全国五団体が当該功労者として選定され、中部局管内

で二団体が功労者に選定されました。

「恵那山みどりの会」へ贈呈

【東濃署】十二月十一日、東濃森林管理署において国民の森林づくり推進功労者への感謝状の伝達式が行われました。

東濃署管内では、岐阜県からは初めて、中津川市を拠点に活動するNPO法人「恵那山みどりの会」が選ばれました。

同会は、平成十五年に東濃署と協定を結び、中津川市神坂（みさか）の湯丹沢（ゆふねざわ）国有林に設定された「大曾川の森（おおひのもり）」において、大曾川の上流と下流の市民による森林づくり体験活動を展開してこられました。上流と下流の住民が川を通して結びつくことにより、上流の森林の手入れが行き届けば、災害を防ぎ、豊かで美味しい水を下流に送りつけることができると年二回程度、間伐等の活動を継続して行っており、今回、この功労に対して感謝状が



間島署長から感謝状を藤井理事長へ贈呈

贈呈されたものです。

間島署長から「大曾川の上下流住民が連携して取り組む森林整備は大変意義深く、これまでのご活動に改めて感謝いたします。引き続き、地域の森林づくりにご活躍いただきますようお願いいたします。」と式辞を述べて、同会に感謝状を贈りました。また、来賓の中津川市鈴木農林部長から「中津川市として、今後も、上下流を結ぶ森林づくりを支援していきたい。」と祝辞をいただきました。



間島署長(左) 藤井理事長(中) 河内森づくり部長(右)

恵那山みどりの会の藤井理事長からは「これまでの活動が評価され表彰をいただきました。これに恥じないよう今後も森林づくりに頑張っていきます。」と受賞の挨拶がありました。

東濃署は、これからも地域と連携した森林づくりを推進していきたいと考えています。

「中日森友隊」へ贈呈

【木曽署】十二月十日に木曽森林管理署において国民の森林づくり推進功労者への感謝状伝達式が行われました。

昭和五十九年の王滝村長野県西部地震発生から本年で三十年となりますが、土石流で荒廃した地域は、下流の都市住民や高校生なども参加して復旧が進められ、今では、樹木が定着し緑に覆われており、地域住民に大きな安心感を与えています。



贈呈後の記念写真

この被災地の復旧活動に参加してきた団体のうち、「中日森友隊」(隊長安井誠一)が、林野庁長官から「国民の森づく

り」推進功労者として感謝状が贈呈されることになり、木曽署において安井隊長に手渡されました。



活動の様子

中日森友隊は、中日新聞社の百十周年記念事業として、森林、自然について学び、遊び、楽しみながら緑を育て、森に親しんでいくことを目的に平成八年に結成され、都会の人たちを募って、王滝村で毎年春と秋の二回の除伐や間伐などを行うほか、岐阜県、愛知県内でも「国民の森」や地元村有林などで下刈り、枝打ち、除伐、間伐等の保育作業や森林散策等緑に親しむイベントを開催しています。

感謝状の伝達式には、署職員、木曽森林環境保全ふれあい推進センターの近藤

所長も臨席し、職員を代表して高嶋署長からの「長野県西部地震からの復旧に対し長年の貢献に感謝します」とのお礼の言葉に、安井隊長から「皆さんの祝福を受けて感謝状を授与されて感激しました。また、活動フィールドの提供と木曽森林管理署職員の皆さんにご指導ご協力いただいたことに感謝しています。今後微力ながらも活動を継続していきます。」との言葉をいただきました。

今後も森林ボランティアのフィールド提供などを通じ、国民の森づくり活動の取り組みを支援したいと考えています。

木曽ヒノキ備林見学会を開催

【東濃署】十一月三十日から二日間、中津川市付知・加子母地域において、木曽ヒノキ備林や地域の木造施設等の見学会(「神木の里で木曽ヒノキの文化と歴史を語ろまいか」)が開催され、地元岐阜県や三重県、愛知県などの二十代から七十年代までの二十名が参加しました。

これは、伊勢神宮式年遷宮を契機に、古くから遷宮用材として用いられる木曽ヒノキをはじめ森林や木材との深い関わりの中で育まれてきた同地域の歴史や文化を、下流域や消費地の人たちによく知ってもらおうと企画されたものです。

(主催…裏木曽古事の森育成協議会 共催…東濃森林管理署)

一日目は東濃署での開会式のと、明

治時代から続く歌舞伎舞台「明治座」古刹「宗敦寺」と本堂の新築を受け持った宮大工工房、森林組合の木材市場などを見学しました。更に、夕食後には、アルコールも交えてリラックスした雰囲気の中、地元郷土史家ら五名が「裏木曽地域と御杣山の歴史」「木曽ヒノキ備林の管理」「三ッ緒切りの伝統を守る」「裏木曽三か村の山守」「木曽ヒノキと歴史的建造物」について話題提供を行い、夜遅くまで参加者と地元関係者の温かい交流が続きました。



「語ろまいか」枝澤 前東濃署長の話題提供

二日目は、加子母裏木曽国有林内の木曽ヒノキ備林を東濃署職員が案内し、平成十七年に行われた伊勢神宮の御用材(「神木」)伐採跡地、ヒノキとサワラの合体木、二代目大ヒノキなどを巡りました。

参加者の皆さんは、いずれの訪問先でも説明に熱心に耳を傾け、「ご神木のふるさとを訪問できてよかった。」「厳しい自然の中、地域の人々が助け合い、知恵を出し、匠の技をみがいて、伝統を伝え、守っておられることを感じました。」「森林内だけでなく実際の利用現場等まで見学でき木材の流れまで考えるきっかけとなりました。」「若い世代の人達にもっと宣伝して広めていくとよい。」などの感想が寄せられました。



裏木曽御用材伐採式跡の見学

主催者の三浦・協議会会長は、今後このような企画を継続し、地域づくりにつなげたいと語っておられました。

東濃署としても、木曽ヒノキ備林を次代に引き継いでいけるよう守り育ていくとともに、地域の取り組みに積極的に参加していきたいと考えています。



「南木曽支署 与川森林事務所」

大前 辰男 森林官

与川森林事務所は長野県の西南部、木曾谷の南端（岐阜県との県境）の町、南木曽町に所在しています。

当該森林事務所が管轄する国有林野は、南木曽町の木曽川左岸にある南木曽国有林約三千五百ヘクタールです。この南木曽国有林は、標高二千二百六十九メートルの摺古木山（すりこぎやま）から西側斜面に位置し、地質は木曽川左岸特有の風化花崗岩地帯で浸食を受けやすく、また年間降水量は二千七百ミリ前後と比較的多いことが特徴といえます。



南木曽国有林と木曽駒ヶ岳

この地質等ゆえに、過去には何度か山地災害が発生しました。しかし近年は、計画的な治山工事の実施により大規模な山地災害は発生していません。ひきつづき土砂崩れを防ぎ、豊かな森林を再生し、水源を守ることを心がけていくこととしています。



南木曽岳山頂の石碑

管内には、標高千六百七十九メートル・日本三百名山に選定されている南木曽岳がそびえ立っています。この南木曽岳は御嶽山・木曽駒ヶ岳とともに木曽の三岳に数えられています。登山道では、イワカガミ、シヨウジョウバカマ、シヤクナゲ、バイカオウレンなどの花が見られます。日帰り登山の山として地元の中学生の集団登山、東海地方などからも多くの登山者が訪れています。



事務所に隣接する三殿土場

当事務所の職員は森林官一名、森林技術員三名、非常勤職員一名の五名で、境界巡検・収穫調査・森林保全巡視などに従事し、また、人工林ヒノキ等に熊剥皮防止ワイリーテープを巻くなど、獣害防止対策も進めています。平均林地傾斜三十度以上の箇所が多く足場の悪いところもありますが、足場足元の確保に努め慎重に行動することに心がけています。昨年は、台風が多く発生した年でありました。それに伴う軽微な崩土等による林道の被害もありましたが、大事に至らず事業を遂行できました。

これから厳寒期を迎えますが、冬期安全対策を遵守し無事故無災害で業務を遂行していきたいと思っています。

二〇一三年 主な出来事

◆1月◆

25 「カラマツ黄葉写真コンテスト」

入賞作品決定(中部局)

入賞作品撮影箇所市町村へ入賞作贈呈
(東信署長から小諸市長へ贈呈)

30 中部森林技術交流発表会

(中部局)

中部森林技術交流発表会で
局長賞を受賞した皆さん

◆2月◆

6 丸太打設液状化対策実験見学

(諏訪市)

13 国有林の地域別の森林計画

等検討会(中部局)

17 「薪談義」開催

(塩尻市)



薪談義

22 「カラマツ黄葉写真コンテスト」

表彰式(中部局)

28 森林管理署長等会議

(中部局)

◆3月◆

6 治山・林道工事コンクール表彰式

(中部局)

7 東三河流域新城地区森林整備

推進協定締結(愛知所)

8 水内森林事務所新築

(北信署)

12 治山・林道工事コンクール伝達

表彰式(名古屋事務所)

22 「御柱の森」森林整備協定

締結(南信署)

25 森林・林業社会貢献活動への感謝状

贈呈式(中部局)



協定者の方々

◆4月◆

1 国有林野事業が一般会計

として新たにスタート

16 森林管理署長等会議

(中部局)

18 民有林支援・連携

担当者会議(中部局)

22 「薪セミナー」開催

(中部局)



薪セミナー

29 みどりのフェスティバル13(瀬戸市)

◆5月◆

9 治山設計説明会

(中部局)

11 愛知県植樹祭

(豊川市)

17 一般会計に伴う林野庁キャラバン

(中部局)

18 岐阜県みどりの祭り

(山県市)

21 中部局と信州大学農学部との連携と

協力に関する協定調印(伊那市)



調印後の握手

23 民有林との連携事項打合せ(長野県)

(24 岐阜県)

24 とやま森の祭典

(10/24 愛知県)

25 長野県植樹祭

(未定 富山県)

27 平成二十五年度事業概要記者発表

(28 中部局)

28 次長等会議・安全会議

30 国有林ゴミゼロ運動実施 (各署等)

(29 中部局)



飛騨署管内のゴミゼロ運動

4 ◆6月◆
金曜会国有林視察 (木曽署)



金曜会視察

11 長野林政連絡会議 (長野市)

26 富山県林政協議会 (富山市)

28 愛知県・岐阜県合同林政連絡会 (名古屋市)

30 戸隠森林植物園オフィシャル

サポーター協定締結 (北信署)

◆7月◆

1 国有林野事業安全週間

3 土場活用委託販売にて

(高) 木曽ひのき販売開始 (木曽署)



(高) 木曽ひのき押印

12 高山植物等保護対策協議会 (中部局)

22 准フォレストー研修開講 (森技セ)

29 第一回国有林材供給調整

対策会議会を開催 (中部局)

31 夏休み子供ふれあいデー初開催 (中部局)



夏休み子供ふれあいデー

◆8月◆

1 国有林モニター会議 (現地見学) (飛騨署)

6 教職員を対象とした森林・林業

体験学習研修会開催 (北信署管内)

(8 木曽署管内)

(9 中信署管内)

9 木曽谷流域森林整備推進協定調印 (木曽町)



協定者の方々

◆9月◆

3 中部森林管理局総合防災訓練

11 「カラマツ新緑写真コンテスト」

入賞作品決定 (中部局)

12 木曽 駒ヶ岳周辺における植生

復元作業実施 (ふれセン)

13 「木曽地方における温帯性針葉樹林

の保護・復元に向けた取組」

18 「カラマツ新緑写真コンテスト」

表彰式 (長野県庁)



最優秀賞「春の輝き」

19 森林管理署長等会議 (中部局)

24 宮・庄川森林計画区の森林計画

に関する地域住民との

森林計画懇談会 (高山市)



飛騨署管内山中山ハーベスタ作業見学

- 9 国有林の地域別の森林計画等検討会
検討委員現地視察（東信署）
- 7 会計実地検査（～11 北信署・中信署・木曽署・愛知所）



NPO・ボランティア連携推進会議参加者

- 30 千曲川下流森林計画区の森林計画
に関する地域住民との
森林計画懇談会（信濃町）
- ◆10月◆
- 1 国家公務員健康週間（～7）
- 3 平成二十四年度決算概要等の公表
（中部局）
- 4 「後世に伝えるべき治山
～よみがえる緑～」
の選定箇所公表（中部局）
- 4 NPO・ボランティア連携推進会議
（～5 塩尻市）

- 7 林政記者クラブ現地視察
（～8 木曽署・南木曽支署外）
- 6 第二回国有林材供給調整
対策会議（中部局）



准フォレスター連携会議参加者

- 11 民有林直轄治山事業
中川地区概成判定
委員会第一回（中部局）
- 17 愛知県木材流通・加工関係者
現地視察（名古屋事務所）
- 29 治山現地検討会
（～31 南信署管内）
- 31 国産材コンクリート型枠合板
現地検討会（中信署）
- ◆11月◆
- 5 中部森林管理局有志協議会
連絡協議会（松本市）
- 6 准フォレスター連携会議
（～7 下呂市）

- 18 会計実地検査（～21 中部局
・東信署・南信署・飛騨署）



低コスト作業システム等現地検討会

- 14 「低コスト作業システム・複層林施
業モデル」 現地検討会（中信署）



一貫作業システムを取材する記者の方々

- 11 民有林直轄治山事業
中川地区概成判定
委員会第二回（～12 中部局）
- 12 「生産と造林の一貫作業システム
報道関係現地説明会（北信署）



温帯性針葉樹林保護・復元取組検討委員会

- 10 中部森林管理局管内合同治山事業
連絡調整会議（～11 中部局）
- 3 「木曽地方における温帯性針葉樹林
の保護・復元に向けた取組」
第二回検討委員会（中部局）



調印後の握手

- 2 森林被害対策ボランティア制度に
関する協定締結式（中部局）
- ◆12月◆
- 27 国産材コンクリート型枠合板
現地見学会（中信署）



当署管内には多数の日本一があります。国有林に直接関係するところでは、①日本一長い信濃川(千曲川)の源流が川上村東毛木場山国有林内に、②日本一海から遠い地点が佐久市榊山国有林内に、③日本一標高の高い場所にあるダムが南相木村南相木山国有林内にあります。

さらに、④日本一標高の高いところにあるJR小海線の野辺山駅、⑤日本一長い上信越道の連続アーチ橋等が管内にあります。今、ご当地自慢として紹介するのは佐久市大曲国有林にある⑥日本一のパラボラアンテナと南牧村にある⑦日本一の電波望遠鏡です。これらの施設が作られたのは、この地域が天体観測に適した地域で、このことを裏付ける日本一として⑧晴天率日本一が当署の所在する佐久市となっています。

◆宇宙航空研究開発機構(JAXA)

白田宇宙空間観測所

この観測所は、彗星や惑星、小惑星の

ような天体に接近して観測を行う深宇宙探査機に向けて動作指令を送信したり、探査機からの観測データを受信するため、一九八四年(昭和五十九年)十月に設立された六十四メートルのパラボラアンテナが運用されています。

なぜこの場所が選ばれたかと言うと、高い山から少し離れており、視野は開けているけれど高い山々がいろいろ遮ってくるため大都市は直接見えず、日本中調べた中で最も電波の状態が良い場所、専門家としては、電波の聖地と呼ばれる状態であったからということ。ここは国有林を所管換した箇所、周囲の国有林によってこうした状態が守られていると考えられます。



白田パラボラアンテナ

この世界有数の大型パラボラアンテナによる成果として、有名になった小惑星探査機「はやぶさ」の帰還に携わったことが挙げられる他、「はやぶさ2」、金星探査機「あかつき」などの観測を受け持ち、最前線の深宇宙探査を実現している施設として注目されています。



はやぶさ探査想像図(©: 池上章裕、MEF、JAXA・ISAS)

◆国立天文台野辺山

太陽電波観測所、宇宙電波観測所が置かれています。四十五メートル電波望遠鏡等を活用し、太陽、星、銀河などからの電波を観測して、天体の姿や宇宙そのものを研究する電波天文学における国際的な拠点として運用されています。この場所が選ばれたのも、標高千三百五十メートルで水蒸気が少なく、周りを山に囲まれた平坦な地形であること、寒冷地

でありながら雪が少ないことなど、宇宙電波、太陽電波の観測に最適な場所と言えます。



電波望遠鏡

このように東信署管内は、地形、気候、環境等の条件が整い宇宙観測の重要な地域ですが、こうした環境の中で生育する信州カラマツの品質も日本一と評価されており、日本一のカラマツ生産基地となることを目指して職員一同森林づくりに取り組んでいます。



カラマツ間伐箇所

平成26・27年度 国有林モニターの募集について

総務企画部 企画調整課

中部森林管理局では、「国有林モニター」を下記のとおり募集します。

この募集は、中部森林管理局が管轄する富山県・長野県・岐阜県・愛知県にお住まいの皆様が国有林が果たしているいろいろな役割や、森林の整備、木材の供給、ふれあいの場の提供等の状況をご理解いただくとともに、国有林に対するご意見等を直接伺い、今後の管理経営に役立てていく取組の一環として行うものです。

1 募集人員

36名

2 モニターを依頼する期間

平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間

3 依頼内容

- ①アンケート調査への回答
- ②国有林の管理経営に関するご意見、ご要望等の提出
- ③モニター会議、現地視察への出席

4 応募資格

中部森林管理局が管轄する富山県・長野県・岐阜県・愛知県にお住まいで国有林に関心をお持ちの成人の方。

ただし次の方は除きます。

- ①国会・地方議会の議員 ②地方公共団体の長 ③常勤の国家公務員

5 応募方法等

中部森林管理局のホームページよりご応募ください。

郵便はがき、FAXでも応募できますので、次の応募記載事項を記し、

「中部森林管理局 企画調整課（国有林モニター担当）」宛にご送付ください。

【応募記載事項】

- ①氏名（フリガナ） ②性別 ③生年月日 ④年齢 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦職業
- ⑧電話番号（日中に連絡が取れるもの） ⑨メールアドレス
- ⑩国有林モニターの応募をどのようにして知りましたか？
- ⑪国有林モニターに応募した理由（具体的に）

【応募締め切り】

平成26年1月31日（金）

- ・結果は平成26年3月中旬頃までに、依頼状の発送をもってお知らせします。
- ・応募者多数の場合は抽選により選定をさせていただきます。

6 応募、問合せ先

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5

中部森林管理局 総務企画部 企画調整課（国有林モニター担当）

TEL：050-3161-8682、026-236-2583 FAX：026-236-2657

URL：http://rinya.maff.go.jp/chubu/

7 その他

- ・提出いただいたアンケートの回答、意見、提言は、匿名にて公表する場合があります。
- ・提出された意見や要望に、個別に回答することはありません。

※皆様の個人情報は、国有林モニターの目的以外には使用しません。